

令和5年度亜熱帯緑化事例発表会 審査講評

『外来のカイガラムシ *Aulacaspis yasumatsui* によるソテツの被害と防除』

台湾を含めた世界各地でソテツ類に大きな被害を与えている東南アジア原産のカイガラムシ「アウラカスピス・ヤスマツイ」が、今年沖縄島に侵入したことが確認されました。そこで、沖縄諸島各地でソテツのモニタリングを継続して行い、被害の有無を調べると共に、効果的な防除の方法を試験しました。発表時点で、沖縄島北部2村の道路沿いの一部で被害が確認され、147個体からこのカイガラムシを同定しました。類似した被害が島の中南部でも確認され、これらについても注視しています。防除法についてはまだ試験段階ですが、侵入初期に対策を立てて早期の根絶を図るために地道なデータ収集を積み重ねている点が評価されました。

(令和5年度亜熱帯緑化事例発表会審査委員長)